

本日のプログラム

2023年11月29日(水)
通算第3058回例会
本年度第15回
瀬戸商工会議所
例会次第

- ・開会点鐘
- ・「日も風も星も」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事
- ・祝福
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・その他の報告
- ・卓話 (株)大竹製作所 代表取締役社長
大竹 敬一様
「日本の農業の今とこれから」



第3057回例会 会長 青山 稔君 挨拶

前回例会 記録

- ・2023年11月15日第3057回例会
- ・場所 瀬戸商工会議所
- ・出席報告 54名 出席会員 41名
当日出席率 85.41%
- ・行事
- ・本人誕生日
松本 哲也君
富田 康太君
- ・ご夫人誕生日
藤田 哲安君 ご夫人百合香様
- ・結婚記念日
平松 啓君
山内 敏也君
- ・卓話 澤田武憲君 小林 稔君
「地区大会報告」

例会予定

12月3日(日)
年末家族会 於:名古屋東急ホテル
※12月6日の例会変更

12月13日(水)
瀬戸警察署長 青山義弘様
「演題未定」

12月20日(水)
・年次総会
・クラブフォーラム

皆さんこんにちは。本日は 第 3057 回 本年度 14 回目の例会です。本日のゲスト・ビジターはございません。

さて、今週に入り一挙に寒さがやってきました、皆様体調は大丈夫でしょうか？お風邪など召されておられませんでしょうか？朝晩と昼間の温度差に体がついていけず体調を崩される場合もございます、どうか皆さん暖かくしてお過ごしください。

さて、先週土日に 国際 RC 第 2760 地区の地区大会が行われました。大会1日目(11日土曜日)は名古屋マリriottアソシアホテルで、2日目(12日日曜日)は朝から白鳥の名古屋国際展示場で2千人を超える参加者で大々的に執り行われました。地区大会の様子は本日の卓話にて『地区大会報告』として澤田武憲君、小林稔君よりご報告頂けますので、私から軽く、補足程度にお話しさせていただきます。

まず1日目、RI 会長代理 野口英一ご夫妻(第 2620 地区・山梨・静岡地区バスターガバナー)のご入場際しわが瀬戸 RC の加藤陽一バスターガバナーが先導をされ立派にお役を全うされました。その後の特別講演では、2012-13 年度、国際ロータリー会長を務められました田中作次様の講演をお聞きすることが出来ました。ご高齢にもかかわらず、大きなはっきりとしたお声でお話をされました。

私が一番印象に残っていることは、とにかく前向きな考え方、ポジティブ思考な方であるという事。例えば、何か失敗した事があってもそれはマイナスでは無い。長い目で見ればマイナスはプラス。プラスはプラス。全部プラスである。また、自分の以外のすべての人を大切にする、理解する、認める。いろんなアイデアが出たらとにかく一回やってみる。何が成功するかわからないのでとにかくやってみる。とおっしゃっておられました。超前向き、超ポジティブ思考に大変魅力を感じた講演でありました。

2日目には、我が瀬戸ロータリークラブはロータリー賞を頂きました。ロータリー賞は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものであるとの事で、昨年、牧年度のいろいろな取り組み(ボッチャ・グラフィックアワードなど)をお認め頂いたこと、また財団への寄付、米山奨学事業に対する取り組みであったりと、総合的に認め頂いた功績であったと理解しております。

今後も頑張ってロータリー活動を進めていくために良い刺激になると考えます。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。本日も宜しくお願ひ致します。

澤田武憲君 「地区大会報告」



先日開催されました地区大会の報告をさせていただきます。先週の11月11日土曜日、マリオットアソシアホテル、12日曜日は名古屋国際会議場にて開催されました。ホストクラブは豊田東RCでした。先週は土曜日から急に寒くなり、大変多くの人でにぎわう中会場に行きますと、大変多くの出席者で会場はいっぱいでした。その中で地区委員長出向者である青山貴彦さん、田中靖達さんは指定席で前の方に着座されていました。1日目の行事は、第2760地区で決めなくてはならないものを決議する本会議、RI会長代理関係のものが多くありました。一日目のオープニングは、パストガバナー加藤陽一さんの先導のもと、RI会長代理のご入場から始まりました。RI会長代理の野口栄一さんは第2620地区甲府RCの所属で山梨日日新聞社長はじめ、14の会社の社長を歴任されているそうです。RI会長ゴードンR. マッキナリー氏の意思、メッセージ「世界に希望を生み出そう」を伝えにきたとおっしゃられていました。本会議が始まり、地区大会登録が地区外12人同伴5人、地区内2521人、同伴12人、ローターアクター54人、総合計2696と発表されました。特別公演では、日本で3人しかいない国際ロータリー会長をされた田中作次様でした。埼玉県八潮RCのチャーターメンバーでもあり、大変なご活躍で、ご講演も何度かされているようで、もしかしたらご存じな方も見えるかもしれませんので、特別講演の内容を紹介します。

講演から引用します。「私の人生」田中作次

「小学校時代は朝食前と学校から帰った後は農家の仕事の手伝いをしました。日曜日は長岡市の朝市で笹の葉を母と共に売りぜんまいや野菜もありましたが2～3時間で売り切り往復40キロの道をリヤカーを引いて仕事をしました。山あり谷ありで怖い思いも多く、右側の山に見える早朝の薄暗い墓場はいつも背中がぞっとする思いでした。新潟県長岡市の過疎地に生まれた私は小学校のころから将来の夢を持っていました。それは総理大臣になるということでした。しかしその意味は政治の世界のことではなく、将来どのような職業に就こうとも必ず日本か世界でトップになりたいという意味でした。そしてもし他人にいじめられたときには心の中で今に見て下さい。その人より必ず上になってみせるという気持ちを持ちました。そういう意味でいじめられることは私にとってやる気が出てくる良い機会でもありました。中学を卒業後すぐに学校の紹介で東京都墨田区にあった山谷硝子工業に就職し、夜は近くの墨田川高等学校に通いました。私が東京に出てきたのには二つの理由があります。一つは働いて収入の50%を苦しい家庭事情の中でも、これまで私を育ててくれた両親に仕送りすること。二つ目は経済的な理由で昼間の高校には行けませんでした。1日の仕事を終えた後の夜の墨田川高校で4年間一生懸命に勉強することでした。しかし次第に残業が多くなって授業に遅刻するようになり、高校の石川先生と相談し1年と三か月で当時小さな田中文具店に就職しました。」と、生い立ちのお話から始まった講演でした。この頃に、体力、気力が培われ、また、母親の一生懸命に商行する姿に影響を受けたそうです。その後、事業は拡大していきますが、こんな大変なエピソードをお話されました。「当時事業はとても順調に進んでいましたが長い年月の間にはいくつかの事件が起こりました。ある時、早朝の4時ごろ警察から電話が入り

した。内容は『あなたの会社の社員二人が交通事故で大型トラックに衝突しました。そしてトラックの下敷きになり二人とも現在病院に入っていますが手当のしようがない位ひどい状況です』とのこと電話が切れました。しばらくして再び警察から電話が入り大変残念ですがお二人とも今亡くなりましたとの電話がありました。一人は私の弟でしたが当時二人とも当社の支店をしていました。年齢は二人とも39歳で3人ずつの子供がいました。そして葬儀場にて合同葬儀を行いました。その後二つ目の出来事ですが、ある時私はアメリカの市場視察に出かけていましたが、サンフランシスコにいる時、早朝に日本にいる娘から電話が入りました。『お父さん今、八潮の本社と倉庫が火災で燃えています』とのこと私はとても信じることができず一回電話を切ってから再度日本に確認のために役員にすぐ電話しましたがやはり火災であることが判明しました。私は驚きと共に役員に対して即座に次の指示をしました。1. 死者が出ないことを最優先する。2. 受注伝票も燃えているようなので明日朝からすべてのお客様に電話で事情を話し受注内容を確認すること。3. この火災は紙が多いので2～3日は燃え続ける可能性があるが、お客様の注文品はいつものように必ず欠品なく、しかもいつものように遅れることなく納入すること。4. 商品は燃えて在庫がないので当社の他の支店から協力してもらうこと。5. が近くの公民館を借り切り、臨時電話を最低20から30本位入れる事でした。この実行によって当社の信用力がさらに高くなり営業に於いても大いにプラスになりました。この災難によって、不可能なことはない、そしてやれば何でもできる、人間の潜在能力は平均10%程度しか使われていないが困ったときにはさらに潜在能力の顕在化が可能になる事が裏付けられました。」田中様の精神の強さを感じました。その後八潮RCへの入会エピソードなども講演が続きましたが、予定時間のかなり前に講演はいったん終わり、長めの質疑応答の時間になりました。その中でのお話は、質問 田中講師のロータリーの出会いで飛躍したと思いますが、リーダーとして注意することは何ですか？ 答え 困っている人を助ける、助ける事で、自分のためにもなる。人の役に立てることはいくらでもある。と経験を踏まえてのお答えでした。

質問 いつも元気にお話をされるが、健康の秘訣は？ 答え 元気の秘訣として、現在84歳で102歳まで生きると決めている。その理由は、母親が98歳まで生きたから。小さいころ商行で足腰を鍛えた。いまでも、歩く事で健康になる。

などなど、多くの質疑応答があり、大変和やかな雰囲気の中特別講演が終わりました。これで、地区大会1日目の報告といたします。

小林 稔君 「地区大会報告」



2023-2024年度地区大会の後半・午後の部について報告させていただきます。最初は感謝状贈呈から始まり、続いて国際ロータリー表彰が行われ、瀬戸ロータリークラブもロータリー賞に選出され、各クラブ会長と共に青山稔会長が登壇されました。次に、愛知県並びに豊田市への記念事業として寄付目録がそれぞれに贈呈されました。豊田市長・太田稔彦氏のご挨拶の中で興味深い話がありましたので、紹介したいと思います。11月16日から18日まで豊田スタジアムに特設コースを新設し「ラリージャパン2023」が開催されます。もちろん近隣の山道を走

破するコースもあります。今回のような自治体主体の開催は異例だそうです。ラリーというと爆音・環境破壊・排気ガスなど様々な問題を想像されると思いますが、ラリーに使用する車は階級にもよりますが、ハイブリッド車で燃料も合成燃料で環境にもやさしい工夫が施されています。カーボンニュートラルの観点からも十分配慮されています。そのような観点からも見て欲しい。ただ単に毛嫌いするのではなく、その競技の細部までみて、また実際に間近で観戦して競技の迫力・素晴らしさに触れて欲しい。またそのバックヤードで行われている事を知ると更に興味が増し、新しい発見があるかもしれない。この様に何かを始めるにあたり、その裾野を広げるためにも数々の努力を惜しまない事が大事である……と太田市長は仰っておられました。一人でも多くの方に見てもらいたいと付け加えられてもおられました。

続いて、ガバナーエレクト紹介があり、挨拶されました。ガバナーエレクトは名古屋南ロータリークラブの医師の吉川公章氏です。毎年そのガバナーの特徴や発言が行動に表れ、人となりが見えて来ますが、吉川氏は歯切れの良さが際立っている様に感じられました。

記念講演に先立ちアトラクションとして「松平わ太鼓」が披露されました。また午前には開会後にオープニングアトラクションとして「どまつりチーム笑舞（しょうぶ）」の演舞がありました。いずれも地元の若者による地域に根づく伝統行事の継承、新たに開拓して地域に笑顔とパワーを届けたいという若者たちの熱意が伝わり感動を覚えました。

いよいよ待望の記念講演です。今回の講演は徳川宗家 19 代当主である徳川家広氏です。1965 年東京に生まれ、米ミシガン大学で経済学修士号を取得、また米コロンビア大学で政治修正号を取得しておられます。2021 年 6 月より公益財団法人徳川記念財団理事長に就任し、2023 年 1 月より徳川宗家 19 代当主となっております。演題は「三河武士がつくった徳川の平和と繁栄」です。写真や実物はもちろん、初めてお目にかかる方でしたので、肩書からすると物静かに難しいお話をされるのかと思っていたら、この様な場面に慣れていらっしゃるのかスムーズな口調で、まくしたてるかの如く講演が始まりました。

戦国時代の三英傑、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康は全員、現在の愛知県生まれであり、信長と秀吉が尾張、家康は三河の出身です。一般的に尾張人は派手好きで独立心が強く目的のためなら常識からは外れる事もいとわない「かぶき者」が多く、三河人は地味で我慢強く、協調性があり、質実剛健。これこそ世界が認めた日本人の気質である真面目、謙虚、我慢強い、勤勉、協調性があるといった典型的な気質であろうと思われる。これらは戦国時代から江戸時代にかけて、全国に散らばっていた三河人の気質と、徳川家康が泰平の世を築くために選んだ学問の賜物であると言えるのだろう。よって現代日本人は家康がつくった！日本人の気質の原型は三河人である！と長い歴史の流れを 1 時間 20 分にわたりノンストップで、水さえも飲まず語り続けられました。時に、経済学・政治学の話も交えなが

ら、またロシア・ウクライナ情勢やイスラエル・パキスタン問題にも触れながらの話は息つく暇もないといった感じでした。どこか池上彰氏にも似た口調で聞きやすく、聞く者を惹きつける話であつたという間でした。数々の著作もあるので、今度是非読んでみたいと思いました。予想外？と言ったら大変失礼だとは思いますが、期待以上の内容に満足いく講演でした。

最後に今回の地区大会の総評を述べられた RI 会長代理の野口英一氏は、開口一番「喋りっぱなしの 1 時間 20 分でした…」と感銘を受けたと言っておられました。甲斐の国にも武田信玄の末裔が存在する事が判明したとの話をされておられましたが、これは事実なのでしょうか？

2023-2024 年度地区大会は私にとりいつもより実りある大会でありよく学ばせて頂きました。次年度も楽しみであります。

2023/11/15 入会 3 年未満会員研修会



2023/11/15 新会員歓迎会 於:木曾路



ニコボックス報告(第3057回例会)

澤田君と小林君の地区大会報告の卓話を楽しみにしています。会長 青山稔

誕生日をお祝い頂きありがとうございます。松本哲也

誕生日お祝い頂き誠にありがとうございます。公私ともに充実した歳にしたと思います。富田康太

妻の誕生日をお祝い頂きましてありがとうございます。ちょうど還暦を迎えました。藤田哲安

60 何年目？の記念日です。お祝い有難うございます。おかげさまで夫婦元氣です。平松啓

お祝いいただきありがとうございます。18 周年になります。今のところ順調で

す。山内敏也

地区大会報告の卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。小林稔
本日卓話をさせていただきます。地区大会の報告となります。澤田武憲
申し訳ございません。早退させていただきます。松本哲也

小林稔君と澤田武憲君の卓話を楽しみにしています！

一山清二、井上博、大竹一義、刑部祐介、小野隆浩、梶野輝雄、勝谷哲次、加藤五津美、加藤一夫、伍春加藤克己、カネ三加藤克己、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤光哉、加藤大伸、加藤陽一、金谷康正、亀井勝、鈴木伸、鈴木紹陶武、鈴木政成、田中靖達、戸田由久、富田康太、花田薫、藤田哲安、牧オサム、増岡錦也、松村晋也、山口記由、山本英雄、柚木猛